



## Contents

- 教育委員長からのメッセージ — 1
- 「とくしま教育の日」実施事業について — 2
- いじめ問題に係る「緊急アピール」について — 3
- 幼小中連携推進モデル事業「学びのかけ橋プロジェクト」について — 4
- eラーニングユーザー登録開始 — 5
- コンプライアンスの推進について — 6
- 公立学校施設の耐震化の状況について — 7
- 防災講演会「学校は立ち止まってはいけない」 — 8
- 徳島県奨学金の返還について — 8
- 新教育委員の紹介 — 8

## 教育委員長からのメッセージ

### はじめに

このたび、教育委員長に選任されました佐藤紘子でございます。今日、グローバル化や情報化の進展、少子高齢化による社会活力の低下、厳しさを増す経済環境等、社会状況は大きく変化しております。

こうした状況の中、教育のあらゆる分野におきましても、様々な改革が進められ、その目標達成に向け、各種施策を実施する重要な時期に、教育委員長の重責を担うこととなり、身が引き締まる思いがいたしております。



徳島県教育委員会委員長  
佐藤 紘子

### 学校、教育委員会、保護者、関係機関が連携し、いじめの根絶に取り組む

本県教育委員会におきましては、平成20年に「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」を基本目標に掲げた「徳島県教育振興計画」を策定し、各種の教育施策を積極的に推進してきたところであります。

本年は計画の最終年にあたることから、現計画の成果と課題を踏まえつつ、改めて本県の教育が目指すべき方向性と今後講ずべき施策等を示した、新たな「徳島県教育振興計画」を策定することとしております。現在、徳島県教育振興審議会において御審議いただくとともに、本県の特徴を生かした、独自性のある計画策定に向けまして、鋭意取り組んでいるところでございます。

また、教育の実践の場となる各学校におきましては、新学習指導要領に則って、新しい教育課程が校種ごとに順次実施されております。基本的な理念は、従来の「生きる力の育成」を継承しつつ、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」、人間としての基本的な倫理観・規範意識を身につけ、他人を思いやり生命を大切にする「豊かな心」、たくましく生きるための「健康や体力」、これらを、これから生き抜く「真の生きる力」と捉え、力を注いでいるところです。

さらに、一昨年の東日本大震災の教訓を踏まえた防災・減災教育、近年の子どもたちを取り巻く環境の変化等に伴った「いじめ問題」をはじめとする生徒指導上の諸問題は、焦眉の課題であります。

この度、徳島県教育委員会では、いじめが背景事情として認められる生徒の自殺が他県で発生していることを深刻に受け止め、いじめ根絶に向け取り組むよう求める緊急アピールを、教職員と保護者に向けて通知したところです。学校、教育委員会、保護者及び関係機関が連携して、いじめ解決に向けともに全力で取り組んでいく所存でございます。

### 教師としての経験を生かす

就任にあたりましては、一人の教師として直接子どもたちとともに歩んで参りましたその日々の実践、また、これまでの委員としての経験を生かすことができると思っております。そして、未来ある子どもたちの教育の充実・推進のため、私も教育委員と教職員が丸となって誠心誠意取り組んで参りたいと考えております。

県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 11月1日は「とくしま教育の日」です。

11月1日～7日「とくしま教育週間」

徳島県では、県民の皆さんが教育について、理解を深めていただき、教育の充実と発展の契機となるよう県条例により、11月1日を「とくしま教育の日」と定めています。  
(実施事業については、次ページに記載しています。)

「はぐくみの心が拓く 未来とくしま」  
(とくしま教育の日 標語)

# とくしま教育の日 実施事業

～ 教育について考え、理解を深めていただく日です ～

徳島県では、教育の充実と発展の契機となるよう、県条例により、11月1日を「とくしま教育の日」と定めています。

学校、家庭、地域社会が一層の連携を深めて、本県教育の活性化を図ることを目的としています。

徳島県教育委員会では、市町村、学校、教育機関や民間団体との連携・協力のもと、11月1日～7日の「とくしま教育週間」を中心とした時期に、教育の振興にふさわしい事業を実施しています。

教職員のみなさんには、児童・生徒の保護者や地域の方々とともに「学び、考える」機会として、様々な事業へ積極的に御参加いただき、また、事業への御配慮・御協力をよろしくお願いします。

## 主な県主催事業

- 徳島県藍青賞表彰式 (10/27 総合教育センター)
- 高校生産業教育展 (10/27 県立文化の森総合公園)
- 徳島県立総合大学校奨励賞交付式 (11/1 総合教育センター)
- とくしま記念オーケストラ第1回定期演奏会  
「はじまりの第九」 (11/2 あわぎんホール)



23年度 高校生産業教育展



23年度 特別支援教育講演会

- 発達障害教育講演会 (11/4 総合教育センター)  
「発達障害者のキャリア教育と就労支援の課題 ～今後の支援の方向性を考える～」  
独立行政法人国立重度知的障害者総合施設  
のぞみの園 事業企画研究部 部長 志賀 利一 氏

- スーパーサイエンスフォーラム (11/17 徳島県教育会館)  
・「私の歩んだ道～導電性高分子研究の34年を振り返って～」  
筑波大学名誉教授 白川 英樹 氏 ノーベル化学賞受賞 (2000年)  
・白川英樹名誉教授と高校生による対話

## 市町村・市町村教育委員会主催事業

- 第27回国民文化祭・とくしま2012  
フラメンコ in 千年珊瑚の町・牟岐  
(11/18 牟岐町海の総合文化センターホール)
- その他、学校公開、公開授業・講演会、ボランティア活動、地元住民に対する学校開放講座、小・中学校児童生徒との交流など

## 県立学校主催事業

- 地域連携「防災訓練○阿波三番叟講演会」  
(11/9 阿南工業高等学校)
- 収穫祭 (11/18 吉野川高等学校土成農場)
- その他、オープンスクール、環境ボランティア、各種体験事業、子育て支援、文化・芸術祭等の開催など

## 私立学校主催事業

- 幼児のためのコンサート  
「音楽が好きになる新スタイルの音楽会」  
ゾリステン トライエーク (11/21 あわぎんホール)
- その他、親子体験教室や講演会など

## 教育関係団体、NPO、

## ボランティア等民間団体主催事業

- 学校、家庭、子育て等をテーマとした講演会の実施  
児童生徒等を中心とした地域との交流事業や体験事業など

この他にも、県内各地でたくさんの事業が行われます。  
詳しくは、県ホームページ内の教育委員会ページで公開中です。  
「とくしま教育の日」で検索してください！

とくしま教育の日

検索



## いじめ問題に係る「緊急アピール」について

いじめが背景事情として認められる生徒の自殺事案が、他県で発生しております。

県教育委員会では、このような事態を重く受け止め、いじめの根絶に向けて教育委員長をはじめすべての教育委員から、教職員及び保護者の皆様に向けて、「緊急アピール」を行いました。

### 緊急アピール ～いじめ根絶に向けて～



いじめが背景事情として認められる生徒の自殺事案が、他県で発生しております。

徳島県教育委員会では、この事態を深刻に受け止めています。

私たち一人一人が、「いじめは絶対に許さない」「子どもたちを徹底していじめから守り通す」という強い覚悟をもち、このような痛ましい事案が発生しないよう、いじめの根絶を願って、皆様にメッセージを送ります。

#### ～教職員の皆様へ～

子どもたちは、いじめを受けていることを、自分から言い出せないことが多くあります。また、いじめは、一部の特別な子どもだけに起こるのではなく、どの子どもも、被害者になることもあれば、加害者になることもあります。そして、どの学級にも、どの学校にも起こりうるものだと思います。

いじめの解決には学校に期待するところが大きく、教職員の皆様には、子どもたちが発するどんなに小さなサインも、決して見逃さない、きめ細かな見守りが求められています。いじめをいち早く発見し、大事に至らないうちに解決できるよう、校長先生のリーダーシップのもと、学校全体で組織的かつ迅速に対応してほしいと思います。

- ▶▶▶ 助けを求めている子どもがいます。その悩みや苦しみをしっかり受け止め、教職員が一致協力してその子を守り通しててください。
- ▶▶▶ 命の尊さを伝え、一人一人がかけがえのない存在であることや、生きていくことの素晴らしさを、しっかりと教えてください。
- ▶▶▶ 「いじめは絶対に許さない」という強い意志をもって、毅然とした態度で、いじめに正面から取り組んでください。

#### ～保護者の皆様へ～

前途ある子どもたちの未来を守るのは、大人の責務です。子どもたちが、いじめる側にも、いじめられる側にもならないように、望ましい人間関係を築くことができるよう、家庭と学校が協力して、子どもたちを導き、いじめを許さない心や態度を培うことが求められています。

子どもたちは、親や家族に心配をかけたくないとの思いから、いじめについて自ら真実を語ろうとしないことがあります。深い愛情をもって子どもに寄り添い、子どもの声に耳を傾け、子どもが何でも話せる家庭を築いてほしいと思います。

- ▶▶▶ 子どもの発する小さなサインを敏感に受け止め、悩みや不安に真剣に向き合ってください。
- ▶▶▶ 命の尊さを伝え、一人一人がかけがえのない存在であり、大切な家族の一員であることを、子どもとじっくりと話し合ってください。
- ▶▶▶ 万一、子どもがいじめられていたら、迷わず学校や教育委員会に相談してください。学校、教育委員会、保護者及び関係機関が連携して、いじめ解決に向け、共に全力で取り組んでいきましょう。

平成24年7月30日

徳島県教育委員会

委員長 西 池 氏 裕  
委員 水 口 艶 子  
委員 佐 藤 紘 子  
委員 筒 井 直 典  
委員 西 泰 宏  
委員 佐 野 義 行

## 長期優良住宅〈OMソーラー・徳島杉〉展示場公開中! 広告



### 太陽の力で年中快適! エコ生活。

木造ドミノ徳島展示場は、OMソーラー・長期優良住宅・徳島杉の家が組み合わさったエコの家。

見学はもちろん、実際に宿泊して体感もOK!

真剣に家づくりをお考えの方は、ぜひご体験ください。



いつでもご見学、宿泊体験可! 来場時お電話ください



心と心で満足とよろこびをつくる  
**(株)セイコーハウジング**

徳島市北矢三町3丁目1-79

Tel.088-631-8236

<http://www.seikohousing.co.jp/>

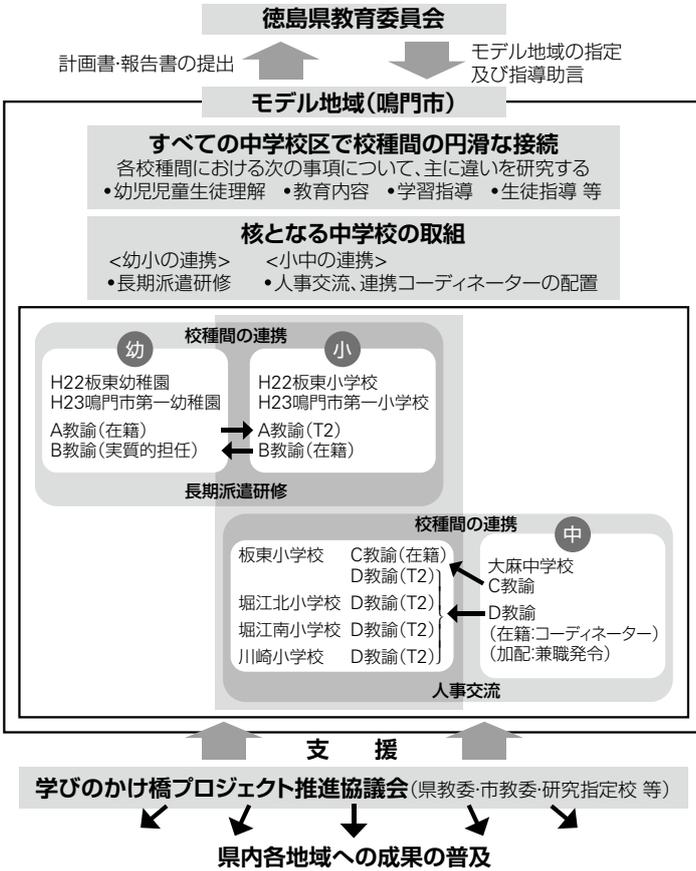
平成22・23年度幼・小・中連携推進モデル事業「学びのかけ橋プロジェクト」

研究  
テーマ

学びの連続性を重視した幼・小・中の連携のあり方  
～幼・小・中教員の人事交流や長期研修などを通して～

鳴門市教育委員会

平成22・23年度 幼小中連携推進モデル事業「学びのかけ橋プロジェクト」イメージ図



近年、「小一プロブレム」「中一ギャップ」といった問題が指摘される中、鳴門市教育委員会は幼・小・中の滑らかな接続を図るため、平成22年度から2年間、徳島県教育委員会の指定を受け、研究を行ってきました。

幼小連携については、幼稚園教諭が小学校へ、小学校教諭が幼稚園へ、1年間の人事交流という形で勤務し、幼児児童の子ども観を共有するとともに、幼児と児童の交流や行事等の相互参観、日常的な情報交換を通して連携を進めてきました。

小中連携については、中学校教員が小学校で勤務し、中学校へ入学する子どもたちの実態を把握するとともに、教科担任制への滑らかな接続に向けて、学習指導を行っています。

昨年度は、これらの成果の普及を目的として、鳴門教育大学での教育文化フォーラムや、徳島県教育委員会主催のあわ（OUR）教育発表会等において、市内や県内の教職員の方に本市の取組について報告させていただきました。

鳴門市教育委員会として、これまでの取組の成果を生かし、今後も、積極的に幼・小・中の連携を推進したいと考えています。

幼小連携

1年次は、板東幼稚園と板東小学校において、人事交流を行い、交流活動や教員研修を通して、研究を推進してきました。スタートカリキュラム作りをする中で、幼稚園で積み上げてきた力がどのように小学校の力に結びついていくのか、互いの教育で大切にしているものを伝え合いながら、取り組んできました。



幼小合同活動

- 2年次は、前年度の成果を広めるため、より規模の大きな鳴門市第一幼稚園と鳴門市第一小学校において、人事交流を行い、幼・小合同活動や合同教員研修を行う中で、研究をさらに進めてきました。
- 合同活動や研修に、幼稚園・小学校の多くの教員が積極的に参加し、教育内容や教育方法について、学び合う機会をもつことができました。



幼小合同教員研修

小中連携

大麻中学校と校区内4小学校において、小中連携コーディネーターが、中学校教員のまま各小学校へ出向き、週1時間理科の授業を担当し、専門的な知識や指導方法を生かして学習指導を行ってきました。学習指導面だけでなく、生徒指導面等様々な連携を実践する中で、子どもたちに適度な緊張感と中学校生活への希望、新しい環境でも頑張ろうとする意欲を育ててきました。ただ、スムーズにつながりだけでなく、発達課題をも乗り越えながらつなげていく、新たな連携も考えていかなければならないと感じています。



小中合同人権フェスティバル

※ 平成24・25年度は、藍住町の幼・小・中学校で研究を進めています。

# e-ラーニングユーザ登録開始

徳島県教育委員会では新たに郷土教材等を使ったe-ラーニングシステムの運用を開始します。各学校での授業、自宅での学習に活用できますのでユーザ登録をよろしくお願ひします。

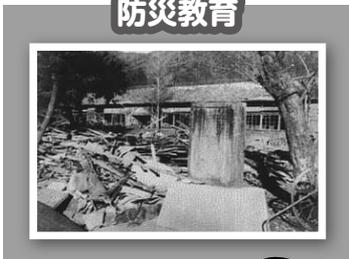
## 郷土学習(うだつ)



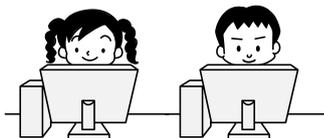
### 一斉授業



### 防災教育



### 調べ学習



### 学校独自教材作成



### 宿題プリントづくり



# 年

### 教材について (静止画・動画)

- 郷土教材(教材例:藍染め、阿波踊り、阿波尾鶏、阿波和三盆糖、渦潮、うだつ、竹ちくわ、人形浄瑠璃、眉山 など)
- 防災教材(教材例:火災、地震、風水害)
- 教科教材(教材例:小学校漢字・筆順)

### 教材の 活用方法

- 【児童生徒】
- 教材を自分のペースで学習できます。
- 【教職員】
- 問題バンク(教材)を利用して、授業に合わせた独自教材を作成できます。
- 学校で準備した写真や動画を組み合わせて独自教材を作成できます。

### ユーザ登録 について

- 県内の児童生徒・保護者なら誰でも登録できます。
- 教職員の方は仮登録済みです。なお、詳細については、別途御案内します。
- 学校単位、クラス単位などで一括登録もできます。

### ユーザ登録や使用方法、教材の利用等についての問い合わせ先

徳島県立総合教育センター教職員研修課  
電話 088-672-5100 E-mail e-learning@mt.tokushima-ec.ed.jp



広告

## 便利な昭和町でこの価格! しかも昭和小学校のすぐそば!



お急ぎ下さい!  
**限定  
1区画!**

価格 **1,916万円**

【物件概要】  
 ●所在地 徳島市昭和町6丁目 ●交通 / 昭和町7丁目バス停 徒歩2分 ●区画数 / 1区画 ●  
 地目 / 宅地 ●用途地域 / 第一種住居地域 ●都市計画 / 市街化区域 ●建ぺい率 / 60% ●容  
 積率 / 160% ●土地面積 / 214.65m<sup>2</sup> (64.93坪) ●販売価格 1,916万円 ●取引形態 / 仲  
 介 ●建築条件なし、広告有効期限 / 平成24年11月末日

## 物件情報はこちら

きよくとう不動産

検索

新築物件

土地

戸建物件

中古物件

マンション

収益物件

売物件も募集中!!



株式会社 旭東不動産

徳島市栄町6丁目16-1  
 tel 088-625-5020 fax 088-625-1038  
 営業時間 9:00~18:00  
 e-mail info@kyokuto-real.jp

# 無理しない かかえこまずに相談を

平成24年度コンプライアンス推進のための  
セルフチェックフレーズ優秀作品

## 平成24年度コンプライアンス推進のためのセルフチェックフレーズ選定結果について

夏のコンプライアンス推進週間にて「セルフチェックフレーズ」の募集を行いましたところ、応募総数が去年の倍近い812点にものぼりました。皆様方の積極的な御協力に心からお礼を申し上げます。

「第2回コンプライアンス推進本部会議」において、次のとおり優秀作品が選定されました。なお、応募数の増加に伴い、佳作を設けました。入賞しました作品・お名前を紹介いたします。

- ❖教育長賞 宮本智恵美 教諭（徳島県立三好高等学校）  
「無理しない かかえこまずに 相談を」
- ❖副教育長賞 近藤 秀樹 指導主事（徳島県教育委員会 人権教育課）  
「これでよし! 思ったときこそ 再チェック!!」
- ❖教育次長賞 佐川理恵子 教諭（東みよし町立三庄小学校）  
「『なれてきた』その自信が落とし穴 初心にかえて 慎重に」
- ❖教育次長賞 第2学年のみなさん（三好市立井川中学校）  
「『少しくらい…』気持ちの小さなゆるみから 広がる被害 崩れる信頼」
- ❖佳 作 (13点) 紙面の都合で、お名前のみを紹介させていただきます。
 

上田 託也 教頭（板野町板野西小学校）	吉岡 和子 教頭（那賀町立平谷小学校）
筒井 光明 教頭（阿南市立大野小学校）	谷口 政代 教頭（三好市立東祖谷小学校）
笹田みすえ 教諭（鳴門市大津西小学校）	小林 良章 校長（つるぎ町立貞光中学校）
高橋 裕子 教頭（吉野川市立川島中学校）	丸岡 美枝 教諭（三好市立池田中学校）
四宮 彰良 教諭（徳島県立板野支援学校）	織野 明弘 教諭（徳島県立徳島科学技術高等学校）
竹内 靖人 講師（徳島県立鳴門渦潮高等学校大津キャンパス）	
山本 一之 期限付寄宿舎指導員（徳島県立盲学校）	
大西 利治 社会教育主事（徳島県教育委員会 生涯学習政策課）	



## 『コンプライアンスハンドブック ケース集Ⅲ』の発行について

本年度も、校内研修等で活用いただくため『コンプライアンスハンドブックケース集Ⅲ』を発行いたしました。新たな事例や、研修形態等を掲載しております。ぜひ、各所属で御利用ください。

※各所属には、メールにて電子ファイルをお送りしています。

※徳島県教育委員会コンプライアンス推進室のホームページにもPDFファイルで掲載しています。



## 「冬のコンプライアンス推進週間」について

12月1日から12月7日までを「冬のコンプライアンス推進週間」として、各所属における研修や啓発活動を重点的に実施する期間とします。年末、学期末を控え、飲酒の機会も増える時期でもありますので、今一度、自分自身のコンプライアンス意識を見直す機会としてください。

### 『通報者の秘密を含め個人情報保護されます。』

コンプライアンス推進室では、公益通報を担当しています。この制度は、教職員の不正行為等を早期に発見し、速やかに是正に繋げ、法令遵守等を推進するためのものです。封書又はメールによりご連絡ください。

○通報窓口：徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

○通報先：封書 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

「徳島県教育委員会コンプライアンス推進室(公益通報)」宛 ※「親展」と記載してください。

メール compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ec.ed.jp

あるいは、「徳島県教育委員会ホームページ」→「教職員の不正行為等通報窓口」から入力できます。（「外部相談員」の通報窓口も設けています。）

☆なお、市町村立小・中・高等学校の教職員についての通報は、該当市町村教育委員会までご連絡ください。

# 公立学校施設の耐震化の状況と防災機能

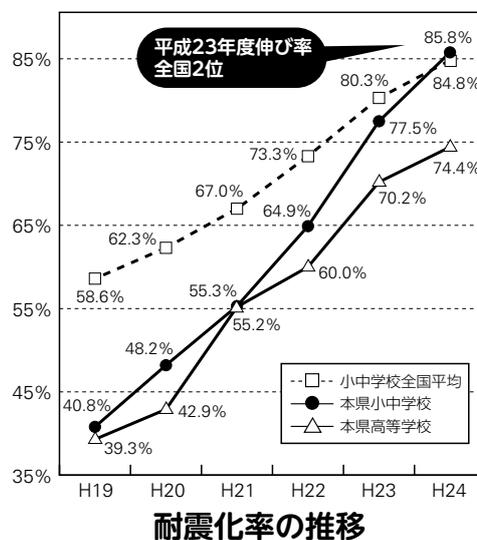
学校施設は、子どもたちが1日の大半を過ごす学習・生活の場であるため、県及び市町村では、その耐震化に取り組んでいます。平成27年度末までに、耐震化率100%を目指し、計画的に進めています。

県内公立小中学校の耐震化率は、85.8%となり、全国小中学校平均値84.8%を上回りました。平成23年度1年間における耐震化の伸び率は、8.3ポイントであり、全国第2位となりました。

県内高等学校の耐震化率は74.4%（全国平均82.4%）、特別支援学校は77.6%（全国平均92.9%）となっています。引き続き耐震化のスピードを上げて取り組んでいきます。

また、昨年発生した東日本大震災においては、学校施設が地域住民の応急避難場所としても機能しており、その安全性を確保することが極めて重要であることが再認識されていることから、学校施設の防災機能強化の必要性が高まっています。

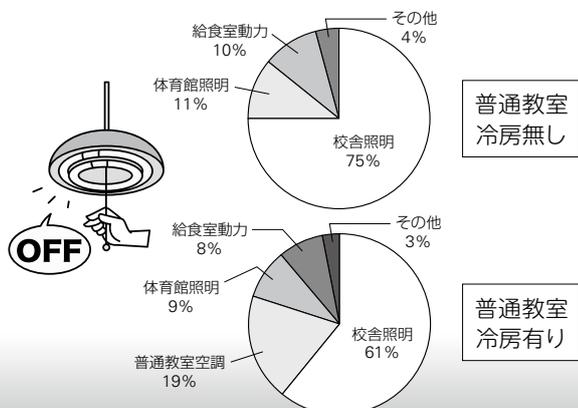
具体的には、非構造部材の耐震化<sup>※1</sup>、避難経路の外階段の設置、屋上からの転落防止の柵・手すりの設置、屋外防災施設<sup>※2</sup>の設置、自家発電装置の設置、屋外LED太陽光照明灯の設置、太陽光発電の自立運転機能の付加や蓄電池の設置等があげられます。



## 節電のポイント!

学校の電力の6割以上は、照明に使用されています。使用していない教室、トイレの照明はこまめに消して省エネに努めましょう。

### 《学校の電力使用量の割合（夏期）》



出典：文部科学省  
「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」

## 用語解説

### ※1【非構造部材の耐震化】

天井材、照明器具、窓ガラス、外装材、内装材、設備機器、家具等の落下転倒防止工事

### ※2【屋外防災施設】

防災緑地（災害時等に避難所としての機能を持った緑地）、スプリンクラー、井戸、防火水槽、給水槽、備蓄倉庫、屋外便所等



耐震工事例

## 疲れた眼を癒して、ココロも体もリフレッシュ!! 広告

眼精疲労でお困りではありませんか？

- ・長時間パソコンを使用している
- ・一日中コンタクトレンズを装着
- ・老眼鏡を使用している
- ・読書をよくする
- ・暗い部屋でテレビや携帯画面を見ている

温湿布・冷湿布などを取り入れた眼精疲労治療をおこなっています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	○	○	○

※土曜日の午後は13:30～17:30です。  
※午後～予約可

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日

入院設備有、急患随時受付



徳島市中通町2(えびす神社近く)

企業検診や、各種手術(白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、黄斑症、網膜剥離など)もおこなっております。



医療法人 山田眼科醫院

☎088-652-4843(代)  
<http://www.eye-yamada.com>

## 防災講演会「学校は立ち止まってはいけない」

平成24年8月31日に、徳島県立総合教育センターにおいて、元女川町立女川第二小学校教頭阿部清司氏（現宮城県教育庁義務教育課課長補佐）を招き、防災講演会を開催しました。

女川町は、東日本大震災で被災しながらも、「教育は立ち止まってはならない」との方針のもと、早期の学校再開を果たしました。

今回の講演は、徳島県教育委員会が女川町を中心に支援を行ったご縁から実現したものです。阿部氏には、震災発生直後の学校の状況や、震災から得た教訓などの体験談を語っていただきました。



### ●迅速な判断力が求められた震災直後

- ・地震により、校内放送が使用できなくなったため、口頭で校庭への避難指示を行った。
- ・保護者からは児童の引き渡しを求められたが、防災無線も聞こえず、十分な情報がなかったため、児童生徒の保護者への引き渡しは学校判断で行わなかった。それが結果的に児童を津波から守ることになった。

### ●教訓として普段からできること

- ・安否確認や保護者への連絡用に活用するため児童名簿、家庭環境調査票は複数作成しておく。
- ・ロッカーには、着替えや日用品（眼鏡、コンタクトレンズなど）を備えておく。
- ・「失敗をしないように訓練どおり行わなければならない避難訓練」ではなく、校内放送が使えない、管理職不在などの様々な状況を想定した訓練により児童・教職員の自己判断力を高めることが重要である。
- ・言葉ひとつで児童・教職員の行動が変わってくるので、校内放送で指示する際には注意が必要である。



### ●最後に

卒業式において、児童から「将来は社会の役に立ちたい」という言葉を聞き、この子たちが10年後の町を支えるんだと確信することができた。また、4月という早期に始業式・入学式を行うことができ、校歌を歌った時は、再び校歌を歌えた喜びをかみしめることができた。その陰には、明るさを取り戻し歩みだしている児童が教職員の元気の源になったことは間違いない。児童を支えてくださった皆様に深く感謝申し上げたい。

今回の講演から、子どもたちを元気にするために踏み切った「早期の学校再開」が、大人や町にまで活力を取り戻すことにつながったこと、また多くの人たちの支援が、子どもたちに感謝の気持ちを育み、将来への希望を抱かせたこと等、多くのことを学ぶことができました。教職員の皆様には、災害時、子どもたちの命を守るため、防災対応能力を高めるとともに、早期に学校を再開することができるよう、東日本大震災から得られた教訓をもとに、安心・安全な学校づくりをより一層進めていただくようお願いいたします。

## 徳島県奨学金 “繰上償還で得するキャンペーン” 実施中 -平成25年3月まで-

返還中の方を対象として、本県の奨学金事業の趣旨を御理解いただき、かつ、一括繰上償還をしていただいた方に、県立施設(県立博物館など)の招待券を配布する「繰上償還で得するキャンペーン」を実施しています。

学校においても、計画性を持って適正に返還することの重要性を、御指導いただけますようお願いいたします。

●問合せ先 徳島県教育委員会学校政策課  
TEL: 088-621-3132、3144

## 新教育委員の紹介



にし やす ひろ  
西 泰 宏 氏

佐藤盛仁委員の任期満了に伴い、新教育委員に西泰宏氏が平成24年7月22日付けで就任しました。

略歴

神奈川県経済学部卒業  
株式会社東急エージェンシーを経て、西精工株式会社入社、  
現在、西精工株式会社代表取締役社長

### 広告



## 泌尿器科 麻酔科 血液透析 緩和ケア

医療法人 尽心会  
**亀井病院**  
〒770-8070 徳島市八万町寺山231  
TEL.088-668-1177  
<http://www.kameihospital.com/>

\*当院はいずれの診療も予約制で行なっております

- New** ①軟性尿管鏡とレーザーによる 尿路結石除去術の手術実績が2012年1月～9月で50例を超え、経皮的シャント拡張術・血栓除去術の同期間の手術実績も 90例を超え 腎泌尿器疾患の病院として着実に発展しています。
- New** ②10月から市バス一宮線が当院に乗り入れ 佐那河内線と合わせて 一日55便となり 通院が大変便利になりました。

- 日本泌尿器科学会専門医教育関連施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本医療機能評価機構認定
- ISO 9001 認証
- 協力型臨床研修病院
- 次世代法 くるみん認定

院長 神山有史 麻酔科標榜医

